

# KYOTO STREET FASHION

ロリータ服×京都 



ストリートファッションと呼ばれる若者の新しいファッション文化。  
その中でも特に「ロリータ服」と呼ばれる国内外に特定のファン層を有するファッションと  
京都の和装文化に着目し、  
着倒れの町・京都の地域活性化を目的とした活動を行っています。

調査・研究・企画の3つを柱とし、リサーチだけではなく京都に住む方・京都が好きな方・  
京都にご縁のある方に目に見える形で「ロリータ服×京都」を提案していきたいと考えて  
います。

## <ロリータ服とは？>

ロリータ服とは、中世ヨーロッパ時代の貴族が着用していたようなレースやフリルを重ねた服の事。  
ブラウスにジャンパースカート、その下にパニエを履いてふわふわのスカートを作りだすのが王道スタイルです。  
一言でロリータ服といっても、甘ロリといわれるピンクを基調としたスタイルから、  
ゴスロリと呼ばれる黒を基調としたものまで種類は様々です。(一部下図参照)



A. クラシカルロリータ B. 正統派ロリータ 甘ロリ C.ゴシック&ロリータ 通称 ゴスロリ

- A. ブログ  
『青木美沙子(※)のピンクなラブリー日記』 2006/6/17  
[http://blog.goo.ne.jp/ribbon\\_misa/m/200606/2](http://blog.goo.ne.jp/ribbon_misa/m/200606/2)  
※ 2009年2月より外務省カワイイ大使として活動中
- B. 毎日新聞社HP ニュース写真特集2009/3/19  
<http://mainichi.jp/photo/graph/20090319/>
- C. インデックスコミュニケーションズ社  
『ゴシック&ロリータバイブルドワール』  
2008/2/28  
P13より抜粋

## <ロリータ服市場>

直営店は全国で123店舗以上。

ロリータ服専門セレクトショップやネット販売のみのお店、リサイクルショップを加えると把握しているだけでも183店舗以上に及びます。

(雑誌『ゴシック&ロリータバイブルvol.37』2010年8月25日発売号 株式会社インデックス・コミュニケーションズ社 より)

またゴスロリ人口は2009年6月段階で100万人、

年間で200億円の市場にまで発達してきているとの推計があります。

(アスキー総合研究所 HP (2009年6月2日)『【所長コラム】「0(ゼロ)グラムへようこそ」ACT25』 <http://research.ascii.jp/elem/000/000/023/23052/> より)

## <ロリータ服有名ブランド>

BABY, THE STARS SHINE BRIGHT / ALICE and the PIRATES / Angelic Pretty / Innocent World  
Heart E / Metamorphose temps de fille / MAXICIMAM / PEACE NOW / BLACK PEACE NOW  
h.NAOTO / Vivtorian maiden / Mary Magdalane / Juliette et Justine / Jane Marple / Na + H  
MIHO MATSUDA / A+LIDEL / Moi-meme-moitié / VISIBLE / MARBLE / KAZUKO OGAWA  
ATELIER BOZ / 危機裸裸商店 / alice auaa / MILK / Emily Temple cute / EXCENTRIQUE etc...

## <本プロジェクトの企画>

### ①お茶会の開催

ロリータ服愛好家が集うイベント「お茶会(※)」。  
そのお茶会を京都で開催し、ロリータ服愛好家の方のコミュニティを形成しようという企画です。

現在、ロリータ服は国内外から注目を集めています。有名ブランドは世界各地に出店を始めており、また外務省が2008年にポップカルチャー通信使としてロリータ界のカリスマを任命し、外交を行っている事からも顕著でしょう。このロリータ服の聖地(発信地)を京都とする事によって、観光客伝いに情報も広がり、定期的なロリータ服イベントを行う事で特定のファン層が集うようになり周辺産業にも影響を与える事が可能であると考えております。そのため将来的にはその京都発のコミュニティから全国の愛好家へ、そして世界の愛好家へと展開していくことが、この観光都市京都なら可能であると考えております。

2010年11月20日(土) 長楽館にて第1回お茶会inKYOTOを開催予定。

(※)お茶会とは？

お茶会とは、ロリータ服愛好家が好んで行う交流会の事です。ロリータ服愛好家たちがお気に入りの一着を着て、同じ趣味の方とお話をする事を目的としています。ケーキと紅茶を用意し行われるのが基本ですが、食事会の場合もあります。

### ②京都を題材としたロリータ服コンテストの開催

京都を題材としたロリータ服のデザイン画を京都の美術系大学を中心として募集。その中から何点かを選定し実際に制作してもらいます。その後公共の場で最優秀を決定。審査員にはロリータ服に精通されておられる方を交渉中。京都発のロリータ服の提案を行います。

(デザイン画から実際に制作する事までを前提に募集します。もし身近に衣服制作できる人がいない応募者に関しては要相談。)

そもそも京都は古来より”着倒れの町”として全国にその名を轟かせてきました。当時は京都が流行発信地・舞妓や芸妓はトップモデルであったわけです。産業面からも織物が発展し、その地位は確固たるものとなりました。一方ロリータ服はそのヨーロッパ風の見え目とは反対に実は日本発の文化。美しいレースやフリル、服のラインやこのスカートのでっぱり方など器用な日本人だからこそ制作出来た物なのです。現在ファストファッションと呼ばれるブランドに注目が集まる中で、その正反対のオートクチュールの流れに乗るロリータ服を京都の伝統的織物文化やその腕を持って新しく構築する事により、地域性を活かした新たなストリートファッションを生み出す事が出来るのではないのでしょうか。また京都発のロリータ服を提案する事で、従来のロリータ服愛好家だけでなく、新たなファン層からの支持も見込めると考えております。

### ③ICTの活用

情報通信技術(ICT)を活用して、ロリータ服文化の活性化と普及を進めていきたいと考えています。

主な研究分野は、仮想空間とスマートフォン、画像解析技術の応用です。

- I. 仮想空間では、ロリータ服やアクセサリーの制作、配布を通じて、アバターベースでロリータ服愛好家の交流の場を構築することをテーマにします。
  - II. スマートフォンでは、利用者本人の写真を取り込み実際のロリータ服を着用したようなイメージを作成して、ロリータ服購入前のイメージ確認を利用者が簡便に行うことができるアプリケーション開発をテーマにします。
  - III. 画像解析技術を用いてロリータ服のパターン認識を行い、着用しているブランド等を分析し、ロリータ服の愛好家同士のコミュニケーションを促進しつつ、購買行動を支援する新しいツール作りをテーマにします。
- 以上のように、ICTを用いて、ロリータ服の理解促進から購買行動支援へとつなげるような環境の開発を行っていきます。

## <お問い合わせ先>

立命館大学 アート・リサーチセンター プロジェクト2室  
電話番号: 075-466-3432  
FAX番号: 075-466-3415  
メールアドレス: [kyoto.street.fashion@gmail.com](mailto:kyoto.street.fashion@gmail.com)  
HP: <http://www.kyoto-street-fashion.org>  
Twitter: KSFproject

KYOTO STREET FASHION構想研究会

- ・立命館大学映像学部 細井浩一研究室
- ・慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 中村伊知哉研究室
- ・阪本商事株式会社
- ・SHUHARI合同会社

京都産学公連携機構「文理融合・文系産学連携促進事業」(平成22年度)